



MBT NEWS LETTER

第366号
'25/10/06

EXPO
2025

9月30日（火）、大阪ヘルスケアパビリオンで MBTが目指す未来の取組みを2題の講演でPRしました

- ・終盤に差し掛かり連日20万人超の入場者で大賑わいのお阪・関西万博2025会場で、9月30日（火）奈良医大とMBTコンソーシアムは再び大阪ヘルスケアパビリオンリボンステージ（写真①）に登場し講演等で活動紹介を行いました。
- ・講演は下記タイトルで行われ、多くの聴衆の下（写真②）、細井裕司理事長は、国内トップクラスの高偏差値の学生が集い海外実習も積極的に推進する奈良医大の少し自慢話や、MBTスタートに至った経緯や活動成果および今後の展開を語られ（写真③）、梅田研究教授は、少子高齢社会の健康見守りとして1分毎に得られる電力データによるライフスタイルAI分析が健康異常の早期発見に有効であり、全国の多くの自治体に普及が進んでいることを紹介されました（写真④）。
- 1）細井裕司理事長：「未来の健康長寿社会に挑む奈良県立医科大学のMBT活動」
- 2）梅田智広研究教授：「電力データとライフスタイルAI、MBTリンクが実現するスマートな未来」
- ・今回の万博イベントにはNHK-TV他のメディア取材もあり（写真⑤）、また今回で大阪・関西万博2025には計4回の参加となり、奈良医大やMBT活動のよいPR機会となりました。



10月3日「日本女性会議2025橿原」の会場ロビーでMBT活動を紹介



- ・10月3日から3日間、第40回目の日本女性会議が奈良県橿原市で開催されました。日本女性会議は、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探ると共に参加者相互の交流の促進やネットワーク化を図ることを目的に、1984年にスタートして毎年全国の都市で開催されてきました。
- ・初日の10月3日に奈良県橿原文化会館で9つの分科会が行われ、その内の一つの「健康・医療」分科会で、「**未来に向かう医療～性差医療を知って健康寿命をのばす～**」をテーマのセッションにおいて、細井裕司理事長は座長として意見のとりまとめが行われました。
- ・MBTでは、会場ロビーの一角に成果展示コーナーを設け会議に参加の全国の女性にMBT活動をPRさせていただきました。

発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、（公立大学法人）奈良県立医科大学
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内 担当 塩山

TEL: 0744-29-8853（直通）、FAX: 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp